

始筆

No.2

令和 5年 11月6日
小学校書写教育研究会

【硬筆展・姉妹都市作品展が行われました。】

一学期末に行いました「京都市児童硬筆書写作品展」には、今年度も多数の学校にご参加いただきました。書写の学習で取り組んでいたいただきました担任の先生方、校内審査にご協力いただきました書写主任をはじめとする教職員の皆様、本当にありがとうございます。硬筆書写作品展は、各校での校内作品展を通じて、異学年の作品を見て学ぶ良い機会となるよう、各校でお取り組み頂いたかと思えます。

また、九月二十七日～十月一日には、京都市京セラ美術館別館におきまして「令和五年度 京都市幼児・児童・生徒作品展及び姉妹都市交歓作品展」を開催いたしました。代表幹事校、集結校の先生方をはじめ、各校の多くの教職員の方にお世話になりました。重ねて御礼申し上げます。なお、姉妹都市交歓作品に選出された作品は、後日写真付きの感謝状が贈られます。どうぞ楽しみにお待ちください。

【低学年書写の実践】

◆日常的に意識して指導していること

日頃から、新出文字(ひらがなや漢字のドリル指導)を主に、「接筆」や「点画」を正しく書いたり、気付いたりできるように発問・意識付けすることで、文字を分析して見る目を育てることを大切にしています。また、書き直しも丁寧に消しゴムで消すことを指導することで、普段から「二度書き」をしないよう言葉かけしています。

書写の学習の中では、ねらいを意識して練習することで、正しい字形で書くことができているかどうかではなく、ねらい(視点)に沿った自己・他己評価ができるように授業を進めています。そして、書写の時間に学んだことが他の教科に活用できるように児童に伝え、ねらいの定着を図るようしています。また、できたという達成感を児童自身ももてる機会を大切に取り組んでいます。

「字形」

※4つの部屋

※リーダー線より上か下か(右か左か)

※長さ・高さ・・・背比べ

※くっつくか、はなれているか、つき出るか(接筆)

※余白

・使わないお部屋はどこかな?

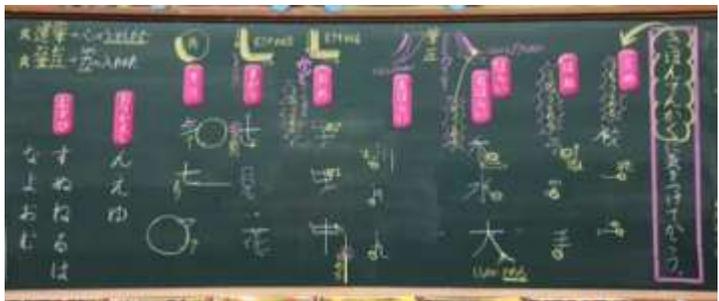
「点画の始まり(始筆)・終わり(終筆)」

※3つの

※3秒止める(とめ・はね・右はらい)

※太さや濃さが変わる(はらい)

水書を活用すると、より学びが深まります。



【第93回京都市小学校児童書き初め展について】

今年度は、総合教育センターでの展示を再開します。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、長らく見合わせていた、総合教育センターでの「京都市小学校児童書き初め展」を再開いたします。昨年度までの校内掲示のみの実施と大きく異なりますので、ご注意ください。

★各学年の作品 ワンポイントアドバイス

【一・二年生】

字形を整えたり、文字の中心線をそろえたりすると、作品全体が整って見えます。

【三年生】

始筆や終筆の筆使い・文字の中心に気を付けて書きましょう。

【四年生】

文字の左右(へんとつくり)や上下の組み合わせと接筆に気を付けて書きましょう。

【五年生】

文字の左右や上下の組み立てと配列(半紙に対して文字の大きさ)に気を付けて書きましょう。

【六年生】

配列や点画のつながり(画と画のつながり)に気を付けて書きましょう。

中・高学年は半紙、毛筆で実施します。
※画仙紙は不可です。ご注意ください。
基本点画や文字の配置、接筆などに気を付けましょう。

学年と名前の上に、必ず校名を明記してください!

お忘れなきようお願いいたします。

★ゴム印も可です。
★学年の上にスペースがない場合は、学年のすぐ右隣でも構いません。

※必ず教材文字の左側に校名は入れて下さい。(右側不可)

理想

校名 ○年 名前

お正月あそび

校名 ○年 名前

低学年の例

中・高学年の例

日常の書写学習で身に付けた、基礎基本を大切に、力強く、のびのびと書くことを大切にしましょう!

低学年はB4板のたて2分の1、フェルトペンか油性ペンで実施します。文字の中心、とめ・はね・はらいなどに気を付けましょう。

詳細は、10月23日付で各校に送付しております。「第93回京都市小学校児童書き初め展―募集要項―」や書写教育研究会のHPに動画を掲載します。ぜひご覧ください。

★小学校書写教育研究会の実践を冊子にまとめました。この始筆と共に各校に送付しています。ぜひ、ご活用ください。

この広報誌の書体は、教科書体です。児童が目にする文字は、できるだけ正しい書体にしましょう。